向陽新聞
高知市塩屋崎町1の2
土佐中・高校新聞部
編集人　田村　孝
発行人　鶴和　千秋
印刷　高知印刷

航空、地学の廃部決定

部活動充実化に動く

演劇・映画 P・F・Cは存続
根本的解決は今後へ

高校の三学期の執行部が、予算会に先だって就任早々の仕事として部の整理に乗り出した。

昨年一月の生徒総会に提出された『向陽会費値上げ案』が否決されて、以後諸物価の値上りも手伝って、各部の運営が困難になってきており、それに伴って、かねてから批難の声があった『四十』という部数が、再び問題として取り上げられるようになった。

新執行部は、そうした声を反映して、去る一月十四日の生徒委員会に『部の整理案』を提出、その結果、体育部関係では『地学部』が、文化部関係では『航空部』が、廃部となった。

当初執行部が委員会に提案した整理案によると、航空部と地学部が廃部、PFC、演劇部、映画部が同好会格下げ、また図書部と文芸部が合併となっていたが、図書部と文芸部を合併、「図書文芸部」とする案は、相方に利益が少ないとして提案を却下した。

一方、三つの部の同好会格下げ案は、PFCは、対外活動が活発で、友愛、教養、平和の三つのモットーに基づく活動内容も立派である点が、映画部は、昨年より二年計画で八ミリ映画製作に着手するなど、だんだん活動範囲が広がり活発になってきた点がそれぞれ認められ、また演劇部は、部側からも部員が高一ばかりで、来年度の活動は不可能だから同好会に格下げて欲しいとの要求があったが委員の出席が少なく、反対なしで否決となり、三部とも同好会格下げを免がれて、今後も部活動を続けていくことになった。しかし航空部は、部の活動範囲が高校生の能力を越えているとされ、また地学部は、部員がおらず、活動も不活発であったとされて、廃部となった。

就任早々の執行部のこのような動きは、かねてより問題となっていた「四十」という部数がもたらす経済的なハンディキャップにより、どの部も十分な活動ができずまたそれに対して講ずべき解決策も、とかく安易な人情論に陥り、不十分で、不活発な部に対する措置が手ぬるく、ますます部のあり方が、問題となっている時だけに画期的で思いきった動きだと歓迎されている。しかし、それに対し「何でもかんでも部をつぶそう、という安易な考え方は危険で、そのような方法では、今の部の状態の根本的解決は望めない」と真向から反対する意見や、「いくらそんな動きに出ても、その結果が、わずか二つの部の廃部では大した効果も上がらないだろう」という執行部のやり方に対する手きびしい批判の声も聞かれた。

このような情勢の下にある各部の状態は、一般的にはあまり恵まれておらず、部室のない部が半数近くもあり、設備も十分とはいえない。ブラスバンド部はそのいい例で、部室といっても、楽器をしまって置くだけで、その楽器も普通は三年の寿命のところを、もう十年も使用しており、各所にセロテープをはりめぐらして何とか急場をしのいでいるものの、それでは余りいい音色が出ず部員を嘆かしている。また放送部は、校内放送という極めて重要な使命を持っておりながら、その設備はいたって、貧弱で、機能を十分に発揮できていない状態である。これらはほんの一部にすぎず、まだまだこのような脳みは、数多く見うけられる。

一方、部活動の中心となる予算の総額は百四十二万円しかなく、四十もの部に対する予算としては余りにも少なく、その反面部員の個人負担金額は、年間数千円にも達する部が少なくない状態である。これは部の根本的性質に反しており、早急な改善策が望まれている。

このような不利な条件に加えて部の内部事情も極めて深刻な問題となっている。

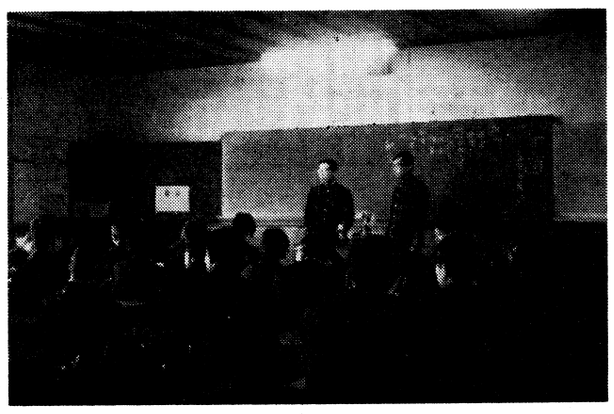
三学期の部員名簿によると現在部に属している生徒は、千名以上もおり、全校生徒の約六十パーセントを占めている。しかしその中には、部に対する誠意もなく、名前だけの、いわゆる「幽霊部員」といえるものが相当数含まれているものと見られる。これは部の活動に支障をきたすばかりでなく、予算会に際しての部の予算獲得戦術の一つともなっており、関係各方面からの自粛を要望する声が高まっている。

このように現在、部は数多くの悩みや、問題をかかえて、一つの「曲り角」にさしかかっており、一刻も早く健全な姿の部に戻ることが望まれている。

生徒委員長塩田満彦君談

前々から部が多すぎると思っていた。そのために、予算が十分でなく、部活動も十分に行なわれていなかったので、活発な部をより活発にして、部の充実を計るために部の整理に乗り出した。結果は、二つの廃部に終わったがこれが多少でも他の部の刺激になれば、よいと思う。

今後も、本校の部を理想の姿に向かって進むよう努力してゆきたい。



「部の整理案」を審議する委員会

主張

予算会で部の整理を

一月の高校生徒委員会で部の整備が行われた。従来から、本校では向陽会費の総額に対する部の数が多すぎて、予算が各部に十分行きわたらず、これが部活動停滞の大きな原因の一つであるといわれてきた。その上近年の物価上昇がこれにますます拍車をかける傾向にあるので、三学期の新執行部は遂に部の整理に踏み切ったわけだ。ところがその結果は当初の執行部の予想をはるかに下まわり、わずかに航空・地学の二部の廃止が決定されただけとなった。しかしこれは今後の本校部活動の活発化への大きな問題を含んでいる。

たしかに本校の部の数は県内・県外の他の高校と比べ相当に多い。しかしこの部の数の多いということは、それに対する十分な予算的裏付けと、全校生徒の多方面への深い興味と、それを部活動としておしすすめていく強い情熱の結果であるならそれ自体少しも問題はないのである。ところが本校では、予算的裏付けが十分でない上に、全校生徒はおろか部員の中にさえ興味も熱意も薄い者が少くない部が存在する所に問題があるのだ。

そしてこれら活動不活発な部は、予算の面で他の健全な部に非常な負担をかけるが、更に重大なのはこれらの部が全校生徒に与える悪影響である。部活動は本来部員相互の深い信頼と友情とによって作り出される明るい雰囲気と共に、激しい練習と厳しい規律・統制、さらに部員としての深い自覚と強い情熱という厳しい面をも併せ持っているのである。ところが不健全な部はこのような部活動の厳しさという点で、全校生徒にあやふやでいいかげんな印象を与える。そしてこれが積み重なると、結局全校生徒の部活動に対するいいかげんで不熱心な態度、更には全くの無関心、それから来る部員不足という結果になるのである。

本校内での部活動停滞の原因は色々あろう。幹部の部運営のまずさ、顧問の指導不足、高三生の不参加、生徒委員会の部指導体制の欠如など数え上げればきりがない。しかし結局根本の原因は資金不足と全校生徒の部活動に対する無関心な態度であり、これらの原因となっている不健全な存在は早急に改められなければならない。

ところが部の整理を行うべき肝心の生徒委員会は、近年非常に委員の出席率が悪く流会が相次ぎ、規定数すれすれでやっと開くという現状で、全委員の三分の二の賛成を要する部の整理などは論議の対象にさえすることが出来ないような有様である。その上部の整理は時期的にみても、一学期は予算が決まったばかりだしまあ今年一年やらしてみようということになり、二学期は行事が多いから駄目だ三学期は予算会があるから無理ということでいつまでたっても行われないのである。

そこでこの際部の整理を予算会に組みこんでやることにしてはどうだろうか。この方法であれば生徒委員の関心が高いので出席率も良いし、各部の今年度の活動の総決算と来年度の活動を決定するという予算会の目的から考えても、各部の今年度の活動状況の資料が最もよく集まっているという点から考えても一番無理がなくて合理的であると思う。ただこのやり方の欠点は予算会がこれまでより少しながびくかもしれないという点である。しかしそこは執行部をはじめ全校生徒委員の熱意と努力で、多少の困難は排除してでも是非これをやっていただきたい。

× × ×

中学入試
今年は現行どおり

今年度の本校中学入試は従来のものに若干の修正を加え、三月二十五・二十六・二十七日の三日間に亘り本校、中村、室戸の三カ所で行なわれることになった。

一月中旬、入試要項の公表を前に、高知新聞紙上に「今年度土佐中学入試一次、二次に分けて実施か」と掲載され、全県下に大きな波紋を投げかけたが、他の国私立四中学校の校長のまっこうからの反対や小学校の教育者、PTAからも現行を希望する意見が相次いで本校に寄せられた。これらの反響に驚いた学校当局は数回の職員会で対策その他を討論した結果、一月二十九日、ついに〝現行にそい実施〟へと踏み切ったわけである。

ところでさきの案は〝入試の公平〟をめざし立案されたものであるが、小学校の卒業式以前に試験をやるということに、教育上大きな問題点があると各方面、特に小学校側から強く指摘されたものである。

しかし一部には「入試協定等による各校のかにとじこもりがちな現状を打破し、独特の校風形成への意図」として歓迎する向きもあった。

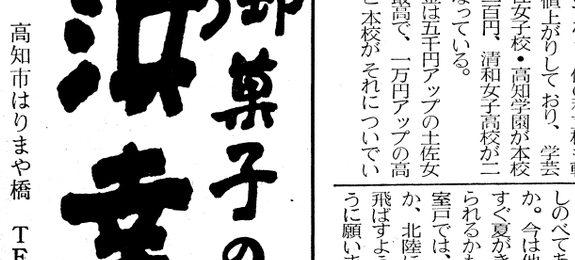
なお今年度の入試で従来と少し変わった点は、国・算のみ二回試験実施から四科目とも二回実施になり、入試の厳選に一歩近づいた点で注目されている。【二面に関連記事】

高校委員会新役員を決定
委員長に塩田君（一H）

一月九日行なわれた高校生徒委員会で三学期の執行部及び議長団の選挙が行なわれ、その結果、委員長に塩田満彦君（一H）、副委員長には杉本康三君（一S）と藤田昌宏君（一T）、書記には刈谷憲寸さん（一H）と吉良睦美さん（一K）が、また議長団は議長に山本亮君（一H）、副議長に岩下哲史君（一K）が決定した。今回の選挙では、執行部、議長団共に全員高一で占められており、近来マンネリ化してきたともいわれる高校委員会を、この若返り執行部が、どう革新していくかが期待される。

塩田新委員長談

例年のとおり、委員会と生徒との結びつきを強くするために多くの人が委員会の仕事にたずさわるようにしていきたい。また、高一だけで少し不安ではあるがあまり気にしていない。やりたいことは、今迄の委員会のような形式にこだわる「から」を打ち破って、一言二行をモットーとしていきたい。



左より
塩田　委員長
杉本　副委員長
藤田　〃
刈谷　書記
吉良　〃

来年度より授業料値上げ
―入学時の寄附金も増額―

来年度より授業料を三百円値上げすることが、昨年十一月二十七日に、振興会の役員会で決まった。

その主な理由は、公務員のベースアップに伴う本校職員のベースアップであるが、最近の物価値上がりにも少なからず影響されている。

本校では運営資金を授業料や寄付金に依存しているので授業料の値上がりもやむを得ない現象である。

三百円上がると現在E型の人が千九百円から二千二百円に、F型の人が千七百円から二千円納めるようになる。一方寄附金は、入学時の寄付金が二万円から三万円になり、中三生が土佐高に進学する際に新たに一万円寄付することになっている。

授業料値上げや寄付金の増加は本校だけでなく、他の私立校も軒並みに値上がりしており、学園校・土佐女子校・高知学園が本校と同じ三百円、清和女子高校が二百円となっている。

寄付金は五千円アップの土佐女子校が最高で、一万円アップの高知学園と本校がそれについている。

岩村さんAFSにパス
―今夏アメリカへ―

アメリカンフィルドサービスの奨学生として本校の岩村房恵さん（二T）が今年の夏から一年間アメリカに留学することになった。

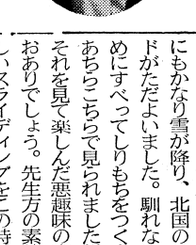
昨年十月の県予選および第一次審査を経て、十一月の三日間東京で行なわれた第二次審査をまっぱ突破。あとは書類選考をまつばかりとなった。

岩村さんは中一のころから英語に興味をもち、英語研究部に入って現在も活動中であるが、AFSに志願したのも、部の友達の留学に刺激されたものである。一昨年志願を思いたったが都合により断念し、昨年の四月改めて決心したということで、特に英会話は外人に学ぶなどの勉強の後、その努力が報いられたものである。

また、土佐校から留学を希望する人なら、学校の勉強以外には英会話を学ぶぐらいでいいそうである。

岩村さんの話

国際親善に努めることはもちろんですが、むこうの生活や生きた英語をしっかり身につけてきたいと思います。



岩村さん

中学、国の補助でミルク給食

土佐中学校内に一月中旬から希望者に対して牛乳価格の大幅なわりびきが行なわれ、生徒間に好評をもって迎えられている。

これは、毎年十月から翌年の三月ごろまで、特に小・中学校の間だけに行なわれる予定である。毎年冬期に入ると、一般家庭の牛乳の注文が減少するため、牛乳の供給源である酪農農家の経済に支障をきたすことになり、政府では、農家の生活の補助と、また中・小生徒の体位向上の一石二鳥をねらって始めたものである。しかしこれにも各県にわりあてがあり、本校へも、全校生に対して約五十パーセントの配当がきまっている。そのため、三分の二あまりの利用者がある本校では、期間がぐっと短くなって、おそらく、三月上旬には打ちきることになるだろうと見られている。

ひとこと

新学期に入り、今まで生徒委員会においてもしばしば討議されてきた部の廃止問題が急に具体化され、一月二十四日の委員会で、地学部、航空部の廃止が決定されました。

この二部は、部員の不足、高校部活動の能力以上のもの、などの理由でこのような処置になった訳です。

その他いくつかの部が不活発という点から問題にされてきましたが、このことは最近の部の状態を見ても大に考えさせられます。

それぞれの部の性格により、活動状況を容易に判断はできませんが、余りに部内者と部外者のつながりがうすいようです。たとえば運動部では、いつ、どこで、どのチームと試合して、結果はどうだったか、知っている生徒はごく一部です。授業以外に自分の興味ある事柄を自主的に追求し、体得してゆくことが部活動の第一目的ですが、一般生徒とのつながりも忘れず、日頃の研究、鍛練の成果はできる限り発表されることを望みます。

素晴らしい部の組立を

次に、発表の場が必要になってきます。夏、秋二回の文化部発表会、夏休み遠征報告、運動部では各種の競技会への出場等昨年は文化部の新しい活動範囲拡張が見られましたが、発表会の利用はまだ十分ではないようです。運動部は掲示板や、校内放送を使用して、試合の日程、結果、応援の要請などを知らせP・Rに努めるのも一手段ではないでしょうか。

三学期の予算会前になって急に活動を始めたり、宣伝に回り予算さえもらえば後はまた元の木阿弥というのは全くありがたくありません。常に内部の進歩と、外部への積極的働きかけに気を配るような部であって欲しいものです。

ところで、今度の部廃止問題では内心ヒヤヒヤしていた部や部長さんも多かったことでしょう。どうか后ぬけはすんだなどと油断せずに、素晴らしい部の組立てにつくして下さい。

（S・Y）

部員求む

○中一男子二名、女子三名
○中一男子三名、女子四名
○中三男子二名、女子三名
○高一男子四名、女子二名
○希望者は部室迄お越し下さい。
○連絡あればこちらからまいります。
○記事の書き方、編集技術など、懇切ていねいに御指導いたします。
○将来役に立つ〝新聞部〟へ是非どうぞ。

うらがき

▼寒い毎日ですね。皆さん元気に遊んでいますか、いやこれは失礼、勉強に夢中になっていますか。今年の冬は二十七年ぶりの寒さとかで、遠くドイツのライン川にも氷がはったとかはらないとか▼「冬でも暖かい」のキャッチフレーズで売り出したこの南国の地にもかなり雪が降り、北国のムードがただよいました。馴れないためにすべってしりもちをつく人があちらこちらで見られましたが、それを見て楽しんだ悪趣味の方もおありでしょう。先生方の素晴らしいスライディングをこの時ぞとばかり胸のすくような思いで拝見した人もいるでしょうね。ある先生のお話によると自転車やスクーターで登校している先生方ですべって転ばなかったのは二～三人だったそうです。▼この同じ雪のいたずらが山の向こうの北陸では、家をつぶし人まで殺すというのですからすさまじいものです。交通がとだえたり雪のため作物がいたんだりで、物価が値上りを示し生活に不安を投げかけています。また金沢等では道が狭く大雪には適していないので除雪が困難だそうです。政府でも雪害対策本部がもうけられましたが、どんな処置が行なわれるでしょうか。▼今北陸の人たちの切実な問題は清掃車がこなくて汚物がたまること、それから笑いごとではありませんが、公益車がこないで弱っていることだそうです。本当にこういうことがらはその場にあたってみなくてはわからないものですね。まただんだん暖かくなると、なだれの起きる虞もあり、もうこれ以上惨事が起らないように政府、その他の人々の活躍を望みたいものです。▼それと同時にこの暖かい南国の地にいてその恐しさを知らない私達ではあっても「自分に関係ないことだ」といわずに暖かい手をさしのべてあげようではありませんか。今は他人の身であってももうすぐ夏がきて、台風にいためつけられるかも知れないのです。もう室戸では、梅の花が開き始めたとか、北陸にも暗いできごとを吹き飛ばすようなのどかな春がくるように願いましょう。

校内短信

先ごろの大雪で被害を受けた地方に、救助物資を送り、救援の手をさしのべようという運動が、二年Oホームを中心として起っており この運動が、全校的なものになるよう望んでいる。

高橋写真館
大丸東 ② 6758

御菓子の浜幸
高知市はりまや橋　TEL②一六四一

ヒフ病薬と新薬は
はりまや薬局
はりまや橋　土電会館南隣り
TEL ②2665

創業明治二十年
老舗 中納言
高知市大橋通 電話(二)〇五七三 二九七九番

学生の書店・学習参考書は是非
金高堂書店
TEL ②8285・8286
土電会館書籍部
TEL (代)②0111

ナショナル
英語の勉強強化に
テープレコーダーを！
18,000円より各種あります
穂積電業社
京町 TEL②6646

サンゴはぜいたく品ではありません
りっぱな工芸品です
土佐の名産サンゴにカツオと
全国に知られています
土佐名産サンゴと
装身具は
池田珊瑚店
高知市帯屋町一丁目
TEL ②0358

紳士服センター
御誂服も　既製服も
スポーツウエアも
広松屋
高知市東帯屋町
TEL ②2338

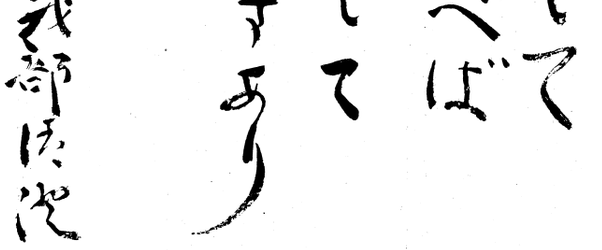
高知一の定評　うまい鮨は
本店　大丸西口前
西店　中央公園西口前
菊寿し
電話㊀三三六六
お二階も一般席ですので
お気軽に御利用下さい

日本毛織　リファインテックス専売店
高級服地を進学進級に
毛織なら絶対折目はのきません
株式会社 丸賀洋服店
(信用を重んじて営業する店
服だけは信用ある店で)
高知市京町31
TEL②3370

３７年度 卒業生へ

曽我部校長

二月一日、曽我部校長先生は、校長室において卒業を間近に控えた高三生に対するはなむけの言葉として、高三生に対する感想、入試の予想、大学生活などについて語られた。



高三生に対する感想

一般に非常におとなしくて、悪いことをする者が少なかった。しかしその反面、勉強の面、運動の面でも、もっとファイトを持ち積極的であって欲しかった。しかし全体的に見てみると、勉強に対して熱心で、態度も年々良くなっているようだ。

これは学校全体について言えることだが、礼儀作法が非常に悪くて一般の人から見ると、随分と無作法であろう。特に注意して欲しいのは先生に会っても、お辞儀もせず帽子も取らないような不心得者がいる。また友達同志のあいさつは心の触れ合いや親しみを深めるためにも是非実行してもらいたい。こういうことは下級生は、だいたい出来ているようだが、上級生になるとてれくさいのかあまり出来ていないように思われる。特に高三生は、これからいろいろな面で礼儀作法には大いに気をつけてもらいたい。

入試の予想

案外悪いと思っていても良い結果が出るし、非常に悪いと思っても良い時があるから、やってみないとわからない。しかし今年の高三は落ち着いて良く勉強していたから去年に劣るようなことはないと思っている。

大学生活に望むこと

急に大学へ入ってタガをゆるめないように。いままで高等学校の時は受験勉強やクラブ活動で高度アップにくるしめられて緊張した気分で過ごしていた。しかし大学へ入ったら「すべての我がごと終り」でノンビリしすぎてはいけない。たとえば土佐の卒業生で、実際にあったことだが、東大へ入った者でも留年（落第）したことがあるから、それまでの反動で、遊びすぎないように注意しなければならない。

卒業生の中では、一流大学へ行く者もあれば、そうでない大学へ行く者もあり、いろいろに分かれるがそうした場合でも会えば、やはり友達として、それまでと同じようなつき合いをするように。

たとえば、地方の大学へ行った者が、中央の大学へ行った者を羨んだり、中央の大学へ行った者が地方の大学へ行った者を、見下げたりすることがないように。

また大学は、とにかく自分で専門の勉強をみっちり身につけるところだから、就職や社会へ出るための単なる肩書きをもらうだけでは意味がない。大学へ行ったら、行っただけのかいがあるものを身につけて卒業することだ。

卒業生に望むこと

卒業してゆけば「先輩の世話にはなれ、しかし迷惑はかけるな」そして自分が先輩になったら、後輩の面倒をよくみてやり、特に自分がやってもらいたくて、やってもらえなかったことは、後輩に必らずやってやることだ。

学生時代の友達は、利害、打算でなくて、いつまでも真の友情をてゆかなければならない。

卒業生に送る先生のお言葉

「少にして学べば壯にして成すあり」「あらゆる方面で、自己の能力をフルに発揮せよ」

価格の値下げ断行

「改善委員会」案に沿い

売店運営の改善へ

昨年十二月、売店、食堂問題に関する改善案が十一月初めより当問題改善案の立案にあたっていた「売店、食堂改善委員会」より提出された。その後十二月中旬までに職員会、高校各ホーム代表と校長との懇談会と二度の承認を得、月末には売店、食堂の運営部に渡されたが、特に問題になっていた五つの項目の内大部分は今学期の始まりを待って実施に移された。昨年の六月以来、生徒会の中心活動としておりこまれてきた同問題も一応大きな飛躍を見せたわけであるが、なお今後にもさきの案で明確化されなかった「売店、食堂の本質問題」その他混雑の防止など問題はなお残りそうである。公表された改善委員会案は次の通りである。（（　）内は現在の状況）

一、販売価格の改善について
売店、食堂は生徒の便宜をはかるためという創立趣旨にそって市価より安く売る（ノート類二円、主に金額の高い物を対象に値下げ）

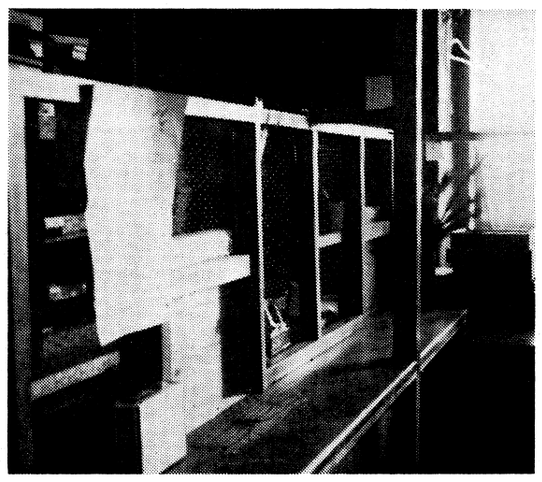
二、サービスの改善について
イ、従業員の増加（売店一名）
ロ、うどんの汁を高温に保つため設備一式を増加する（カマ一個と市営のガスをそれぞれ増設）
ハ、原稿紙、紙等の分け売りを行う（一円単位で販売）

ニ、行事など特別の場合従来通り就業時間を延長して便宜をはかる。なお平常においてもパンの販売は現在より時間を延長する。（パンは売店で四時半まで販売、うどんの場合赤字になる傾向が強いので実施不可能）

三、決算、利益の使途について
イ、決算報告は学校が義務づけられる筋合のものでないが、簡単な方法で会計監査の後などに売店の内部に掲示するのは良いと考える。（各学期の末に実行する方針。十二月には実施）
ロ、利益の使途についてなんら干渉すべき筋合いのものではないとの見解をとる。遠征費については生徒委員会からの要望もあり補助程度にとどめる。生徒の福利には使用しているが、何が生徒の福利になるか慎重に考え、生徒からの意見もとりいれる。

四、混雑の防止と販売の能率化について
（委員会の案は撤回されたため売店方針による。現在人員を増やした以外に行われていない。生徒からの声が強かった各ホームにパンを配給するという案はかえって混雑を招くようになり売店にとって二重の手間になるので実施しないという売店の意見）

五、金網の問題について
金網を除いてガラスかビニールに変える（今学期中に実行の予定）


問題の金網もガラス張りに

渡辺先生談

これからも売店について要望とか意見があったら、私まで言って来て欲しい。できるかぎりは生徒からの意見も取り入れ、改善して行きたい。また生徒もこちらからの要求は実行してくれるように。

阪大二十一、東大十一

トップは慶大で三十四名

大学志望

このほど指導部で、本年度の進学志望、大学の状況がまとめられた。

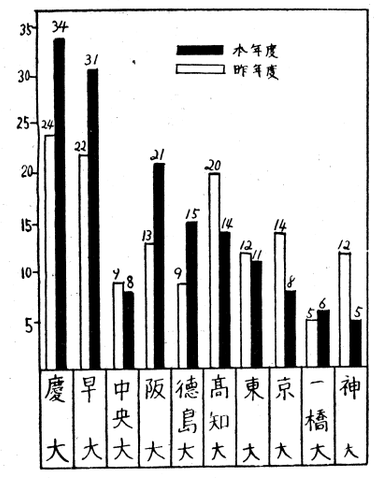
それによると、進学希望者は、三〇九名中二六四名で、全体の八十五パーセントを占めている。

国公立校への志願者は二五九名で、昨年度の一五四名をわずかに上まわっている。このうちわけは阪大の二十一名がトップで、徳大十五、高知大十四、東大十一、京大八となっている。昨年に比べると、地元高知大は六名減り、京大、神戸大も六、七名減って一昨年の線にもどった。なお東大も一名減っている。一方、大幅にのびたのは阪大で、八名増加した。

私立大への志願者は一〇五名で昨年を十名ほど下まわっている。大きな特色は、慶大、早大が、三十四、三十一と群を抜き、しかも昨年より十名近く増加していることである。

系統別に見ると、文化系が一三九名、理工系が一一七名で、昨年同様、文化系がわずかに多い。また、学部別では、トップが法学部の五十三名（うち私立三十七）で以下工学部四十七、経済学部三十六、医学部三十三、文学部二十八と続く。特徴としては、工学志望者が、昨年より十七名も少なかったこと、女子の薬学志望者がふえたことなどが、あげられる。

高三生に残された日もあとわずかだが、山岸先生はこう言っておられた。「言うことは、唯ひとつ。先輩に負けないよう頑張れ！」



ある日のホーム・ルーム

どぶさらいをする二K生

二月六日、六時限のホーム・ルームの時間、二K全員が校内、外の美化に奉仕した。これはホーム・ルーム運営委員の提案によるもので、玄関のふき掃除、表門、裏門横のドブさらい、新館と体育館の間の草とりなど、日ごろ人手の行き届かない所を清掃し、先生方にも喜ばれている。

運不運のない入試を

中学入試について校長語る

—今度の案を出した理由、主旨について—

いままでの入試方法だと不当の実力がわからず、欠点が多かった。一回だけの試験だと運、不運に左右される所が大で毎年言われることだが、入学した生徒より、かなり優秀な生徒が落ちている。また入試の成績と、入った後の成績とあまり関連性がなく、入試の際成績が良かった者が、入ってからも成績が良いとは言えない。これは統計に依っても明らかである。そういう欠陥を少しでも是正し、普段から着実に勉強しているもの、あるいは現在そういう準備はしていないが将来のびる素質のある者、そういうものが入学出来るように、一次と二次と二回にわけてした訳だ。また去年算数と国語を二日にわたって行ったところ一本勝負でなく、わりに運、不運ということがなく、大変好評であったので、こん度それを一寸拡大したわけ。

一次試験を郡部で行うのは、郡部の方から是非出張して試験をしてもらいたいとの強い要望があったからである。

—世間でいわれている批判について—

世間では「一次試験で実質上学校は合格、不合格を決めている。二次試験は形式上やるだけだろう」といっているが、われわれの趣旨は、先にいったとおり多くの試験をやるということにあるのだからこれは誤解である。案内書にも書いてあるとおり、一次試験は容易なものを出し、二回の成績によって合否を決めるのである。一次試験だけで合否を決めることなどとうてい出来ないし、そんなことをすれば当の受験生、その他が承知しないだろう。ぬけがけでやるなど考えていないしその必要もない—小学校の卒業式後に二次試験を実施する方法は考えてみなかったか—

色々考えてみたが時間的に無理だった。

—受験生の負担について—

多くの人の意見を聞いてみたが一本勝負でやるのでなく、二回に分けてやってもらった方が良いとの意見が圧倒的だった。極端なのでは、夏休みに一回やり、冬休みに一回やるという意見の人もいた。

—他校への案を勧めることは出来なかったか—

それぞれ学校によって行き方があるので、とやかく言えない。

—今後の私立校は—

公立学校は一般社会の要望の最大公約数といったものであろうが私立学校はそれぞれ独自の方針、目的を持っているわけだ。従って公立校の場合、試験期日を統一したり学区をくぎったりする必要があるのに対して、私立は、その独自性を生かす必要がある。その学校の目的なり、方針なりに共鳴する者がくるということを考えていくべきだ。

今回は期日がさし迫って急に発表し、関係者に大変迷わくをかけたことは申訳ないと思っている。

施設へ本を寄贈

お礼の手紙も来る

昨年十一月私立五校によって集められた良書は、各校代表の手によって施設に贈られた。

これは、私立五校（土佐・土佐女子・学芸・高知・清和）の間につくられている生徒会懇談会で恵まれない子供たちに学習に役だつ良書を贈ろうという主旨のもとに企画されたもので、さっそく各校の生徒によびかけたところ、十一月末までには、本校の千二百冊を始めとする二千五百冊もの本が集まった。中には新品同様のものや相当高価なものもあり関係者を喜ばせていたが、その多くは過去に使用された思い出の書物であり、恵まれない子供たちの役に立つようにと特に寄贈したものばかりである。

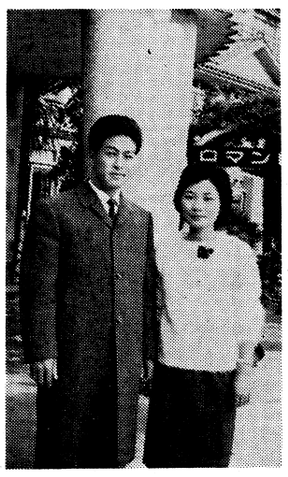
このほど養護施設から五校あてにお礼の手紙が届き、各校生徒会では贈りがいがあったと喜んでいる。

あいついで御結婚

西田、森木両先生

昨年末、体育担当の西田元・森木両先生が新生活にゴールインされた。西田先生のお嫁さんは徳弘節子さん（二十二才）で、式は十月二十日土電会館で行なわれた。この式には本校の生徒も数人出席し心から祝福を送った。式ののちお二人は自浜方面に新婚旅行に出発された。

一方森木先生は十二月二十一日に同じ土電会館で池美恵子さん（二十四才）との式をあげられ、その翌日飛行機で新婚旅行に向われた。（西田先生ご夫妻）



来年度へ

近来民主主義がやかましく叫ばれていますが存外日本ではこれが徹底していないように思われます。例えば選挙ですが、投票率もそう上々とはいえません。土佐中の生徒会でも執行部や議会に対して関心が余りなく丁度日本の政治の状態と同じです。こんな小さな社会でさえもこんだったら世の中に出たらどんなになるだろうかと心配です。今迄の執行部は行動の根本思想がなく従って目的が不確かな行動が多い。例えば、執行部が「学校を楽しく住みよいところにする」とか「校内整備をする」とかいう目的のもとに行動したら随分よくなりそうです。その上生徒会全体についていえることですが会議の進め方が身についていない。これは民主社会に生きる人間にとっては大きな弱点だと思います。さて議会（土佐中の国会）ですが、議員は執行部（土佐中の内閣）と生徒（国民）との間を結ぶ大切な役目なのに、今迄の議員はその重要さを知らなかったから随分国民に対して不誠実なことをしたと思います。本当なら首になっているところです。議員の役目はクラスの意見を反映し議会で討論し議員から出された意見を各クラスに正しく報告するのだと思います。土佐ではクラス会がどうも余り活用されていないようです。これはちょっと国民の認識不足じゃないかと思います。国民は勉強に夢中？になって、生徒会のあり方はこれでよいのか等ということを考えたことがあるでしょうか。執行部が独裁的に規約改正を行なっても黙認しているような状態なのです。こんなことじゃいけない。生徒会を盛り立てて正しい方向へ導かなくてはと思わないかなあ。

僕がタラタラ書いてきたのは空中の楼閣じゃないんです。生徒会を正しいりっぱな方向にもっていこうと努力すれば日本一すばらしい会ができるんですよ。そしてそうすることによって社会に出ても立派な会議を行う本当に民主的な人間になることができるのです。今度の執行部もこのことに気付くのが遅くて余り成功していませんが来年度からの皆さんの奮発を待ちます。

三A　山本　幸憲

土佐高生に対して

最近私はある結論に達した。

「土佐高生とはどうしようもない人間である。」

編入して来る（高一編入）以前は、土佐高生とは、勉強も出来るが、また人間味豊かな、立派な人間の集まりであろうと思っていた。だからこの学校に入った時もそのような人と友達になれるとは非常に嬉しかった。

しかしこの空想じみた考えは日に日に消えていき、やはり空想にすぎなかった。

例えば今ここに私を含めた二三人の生徒がいるとしよう。もちろん土佐高等学校の制服を着ている立派な生徒である。私がちょっとイヤラシイ様な話をすると、彼等は池に放たれた魚のように、話に乗って来る。これだけならまあ普通の人間だろう。しかし話題を変えて、クラシックや文学の話しをしだすと、もう駄目だ。彼等にはこれらを話す、これっぽっちの知識もないのだ。それでいて勉強、受験のための知識、これらは一応知っているのだ。私は何も土佐高生に全知全能を要求しているのではない。普通に古典や文学を語る余裕のある友になってもらいたいものだ。その様な下らない受験勉強的知識だけで、ノンノンと社会に出て何になるというのだ。世の中には、広い教養を持った人間が必要なのだ。この基礎を高校の間に作るというだけでも非常に意義のあることだと思う。

土佐高の皆さん！　もっと大きな広い視野を持った人間になろうはでないか。

高一　X夫

ちょっと失礼

森木畯一先生

ご結婚後早くもあしかけ二年目を迎えられた（正確には二十四目目の）森木先生ご夫妻をちょっと失礼した。

「新聞部の一寸失礼はあくまでも一寸失礼であって、うんと失礼ではないはずだね。」と訪問決定の時にとどめを刺されていたので、こたつに足を入れてもあれも聞かなければ、これも尋ねなければと思うと気ばかり焦ってどうも落ちつかない。

記者一同まごまごしていると、先生から逆に「どうですか、新居訪問のご感想は？」と尋ねられた。一同顔を合せてテレていると、フスマを開けて、背のスラリと高い、色の白い、美しい奥さんが入ってこられた。

先生の隣へ坐られてニコッと笑った時には、月並ようだがその部屋全体が何だかパッと明かるくなったような気がした。

新婚旅行は二人で計画して、奈良、東京、上諏訪を周ったそうで諏訪では霧ケ峰でスキーを楽しんだとのこと。奥さんは、スポーツはあまり得意ではないとおっしゃったが、五十メートルで二回転んだだけとのことで、「スキーを初めてやったにしては上手やったねえ。」とは森木先生の評。ただしスキーの内容は推して知るべしとのことである。

「高知で五台山荘に一泊してねえ、その翌日飛行機で大阪へ行ってそこから近鉄で奈良へ行き奈良ホテル（皇太子が泊まったほどの高級ホテル）で一泊してねえ、それから〝はと〟で東京へ行った。そこまでは良かったけんど、東京の泊まったところがねえ、えいと思うちょったら、病室みたいなところで、前の晩泊まったところとものすごく違うろう、ねえ、まっことあの時はみょうなかったねえ。」とかたわらの奥さんを省みられる。「ほんとねえ。」とまたニコッとされた。

外は寒い風が吹いているというのに室内は何ともいえない熱さでハンカチを忘れて行ったことを後悔した。

それから上諏訪へ行ったそうで「その時にねえ、かけをして映画をおごってもろうた。

十円玉がいることがあって出したところが、それに緑青がいっぱいついちょってうんと古かったので、それが何年に作られたのかかけたわけや。家内（カナイですぞ）は二十九年とかけて、オレが二十八年とかけた。結局二十八年とかけたオレが勝った。ほんで昨日一〇一四ワンちゃん大行進をおごってもろうた。

またもう一つ何かかけてねえ、その時は史上最大の作戦をおごってもろおた。」

「要するに二回とも奥さんが負けたわけですねえ。」

「仕方がないです。かけようと言い始めるのはわたしなんですから。それでね。必ず負けるの。」

奥さんが中座された時に、「先生、趣味は？」と尋ねた。

「ドライブすること」と即座に答えられた。

『じゃあ奥さんの趣味は先生ご存知ですか』

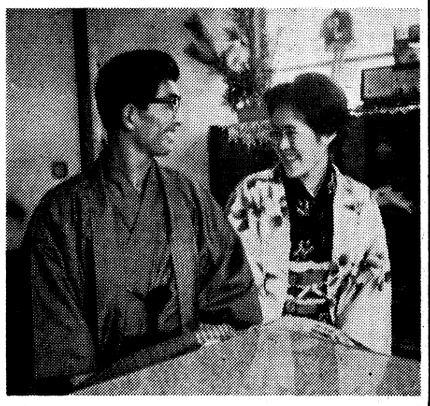
「もちろんドライブへ連れて行ってもらうことやろう。」と先生が自信たっぷりとしゃべったところへ入ってこられて、

「何のお話？　趣味の？　そうねえ、ドライブもいいけどやっぱり映画を観ることね。それもディズニーの漫画映画をね。」

「先生フショウフズイですねえ。新聞へはどちらの〝フ〟を先に書きましょうか。」

「いわいでもわかっちゅうやいか。もちろんオンナヘンが先よ」と先生がニヤニヤされると、

「そうでもないですよ。そんな人聞きの悪いことはいわないでね」と先生を軽くニラまれた。フショウフズイは読者のご想像にお任せする。



こういうことを尋ねるのにはまだ少し早すぎると思ったが、

「先生、子供は何人ぐらい。」

『まだそんなところまでいくかねえ（と奥さんに同調を求めるように）二人でようようよ。」と軽くかわされた。笑ってばかりして過ごしているうちに約束の訪問時間を十分もオーバーしてしまい、名残り惜しかったが、何十年ぶりの寒さというのも知らない感じの森木先生ご夫妻においとました。

（K・I）

メガネ専業
イリキ眼鏡店
高知ハリマヤ町 電②0998番

校友の店
クツの高雅堂
高知市帯屋町一丁目　TEL②2960

TEL ②0105・0106
すし柳
高知市南ハリマヤ町

趣味の陶器を沢山揃えております
依光陶美堂
高知市オビヤ町　TEL②2321

土佐高の店
〝祝卒業〟
万年筆は
白亞堂
帯屋町東宝劇場西三軒
TEL②2473

辞書・参考書
ザッシ
螢雪時代
高校時代
中学時代
予約承ります
明文堂

D.Pの機械化によりあなたのお写真がより良くより安く出来るようになりました
サービスサイズ＝10円（77mm×112mm）を始めました
キタムラカメラ
堺町19　TEL ②3154～6

信用あるお店で安心したお買物を
通学用・旅行用・かばん・袋物
マエダ
かばん店
高知市帯屋町18　②8600・8601